



活動報告

●「九州次世代エネルギー展」出展

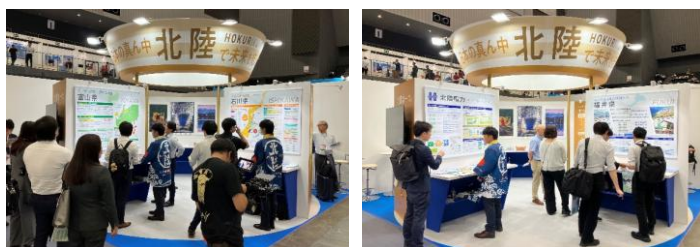
【日時】9月30日(水)～10月1日(木)

【場所】マリンメッセ福岡

北陸国際投資交流促進会議（以下「北投促」）は、半導体産業の集積が進む九州の動向把握を目的に、「九州次世代エネルギー展」に初めて出展した。

当会は、北陸三県及び北陸電力と、企業誘致活動の一環として、北陸の立地条件の良さ・各県の助成事業・人材の優秀さを紹介するとともに、来場者と情報交換を行った。今後は北陸地域への企業進出の具体化を促すべく、アプローチしていく。

※北投促：北陸三県・北陸電力・北経連で構成



(担当：出口、酒井)

●会員懇談会（富山会場）

【日時】10月2日(金) 14:30-17:00

【場所】ホテルグランテラス富山

(オンライン併催)

【参加】94名（会場57名、オンライン37名）

【テーマ】企業防災

冒頭挨拶で、金井会長は「近年の日本各地における自然災害の頻発、中東情勢に起因する地政学リスク等、様々なリスクが複雑に連鎖し企業経営の大きな脅威となっている。事業継続を阻害する要因をリスクとして正しく認識し、リスクが発現した際の影響を最小限にとどめ、事業を継続していくことが重要である。」と述べた。

東京海上ディーアール(株)上級主任研究員の橋本幸曜氏は「職業的観点から考える震災対策の必要性

～近年のBCPの課題と動向～」と題して講演。自然災害発災を巡ってのBCPの動向や対応の最前線の実態、経験を語り継ぐ必要性について説明した。

三菱商事(株)国内担当付総括マネージャーの新田賢太郎氏は「日本の経済・産業について」と題して講演。昨今の日本経済の動向と、イラン情勢が招いた様々な影響が現在も継続している現況を踏まえつつ、今後の影響とその備えを検討する重要性について言及した。

閉会挨拶では稲垣副会長が、2024年1月の能登地震時の自社対応を振り返りつつ「本日の講演を、会員企業のBCP/BCMの実効性を高め、北陸全体及び日本経済の事業継続力、災害や様々なリスクに対する強靱性を高める一助としたい」と述べた。



(担当：池澤)

●脱炭素マッチングイベント

【日時】10月8日(木) 13:30-16:30

【場所】金沢港クルーズターミナル

【参加】約120名

産学官金連携プラットフォーム「カーボンニュートラルBASE北陸(CNBH)」は、石川県と共催で脱炭素マッチングイベントを開催した。カーボンニュートラル関連の技術やサービスを有する企業・団体が出展し、プレゼンテーションや個別相談・商談会を通じて、来場者とのビジネスマッチングの機会を創出した。

魚屋常務理事・事務局長は、冒頭の挨拶で、脱炭素の実現は1社のみでは成し遂げることができず、様々な主体が連携しながら進めることが重要であり、今回のイベントがその一助になることへの期待



北経連トピックス

URL <https://www.hokkeiren.gr.jp/>
E-mail info@hokkeiren.gr.jp

2026 年 10 月 16 日 (金) No408

発行：北陸経済連合会
編集：高橋アカネ・越野理恵
Tel:076-232-0472 Fax:076-262-8127

を述べた。

当日は約 120 名が参加し、出展者と来場者の間で活発な意見交換や相談が行われ、新たな連携や事業創出の可能性が広がる機会となった。また、本イベントを通じて「CNBH」の活動や取り組みについても広く周知を図った。

【出展企業・団体】12 社 (50 音順)

金沢機工、Sustech、省エネルギーセンター、
中小企業基盤整備機構、ナレッジリーン、
西山産業、別川製作所、北陸銀行、
北陸電気保安協会、北陸電力、
北國銀行・CC イノベーション、菱機工業



(担当：坂本)

今後の行事予定

◆2026 年度会員懇談会 (全会員対象)

●福井会場

【日時】12 月 1 日(火) 14:30-18:00

【場所】ホテルフジタ福井 (ザ・グランユアーズ
フクイ)

【テーマ】高付加価値化

【講師】・下 寛和 氏 (㈱野村総合研究所)
・能作 千春 氏 (㈱能作)

●石川会場

【日時】2027 年 2 月 17 日(水) 14:30-18:00

【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢

【テーマ】ウェルビーイング

*いずれもオンライン併催

(担当：池澤)

お知らせ

■金沢工業大学からのお知らせ【受講者募集】 「DX リスキル教育プログラム」

金沢工業大学主催、北経連共催で「DX リスキル教育プログラム」を実施します。

生成 AI の実務活用に特化した 1 日完結の対面プログラムで、すぐに使えるビジネススキルを少人数制で習得できます。

人材育成部門・DX 推進部門等にもぜひご周知ください。

【日程】

①講義演習

2026 年 12 月 4 日(金) 9:00-17:00

場所：金沢工業大学 扇が丘キャンパス

②オンデマンド 事前・振り返り学習

2026 年 10 月 6 日(火)～2027 年 2 月 26 日(金)

【講師】井上 祐寛 客員准教授

山本 知仁 教授

【受講料】60,000 円 (税込)

【定員】20 名 (先着順)

【詳細】<https://www.kanazawa-it.ac.jp/rec/dxreskill/>

【申込】10 月 30 日(金)までに上記 URL から申込
(担当：江戸)

■北陸地方整備局・北陸信越運輸局からのお知らせ 【参加者募集】「大規模地震を想定した 北陸港湾への代替輸送訓練」

首都直下地震及び南海トラフ巨大地震が発生した場合、太平洋側港湾が被災し使用できなくなることが想定され、企業の物流の代替ルートとして北陸港湾の利用が考えられます。

このような事態に備えて北陸港湾への代替輸送訓練を開催します。(北経連後援)

【日時・会場】

①首都直下地震を想定した訓練

日時：11 月 20 日(金)13:00-17:10



北経連トピックス

URL <https://www.hokkeiren.gr.jp/>
E-mail info@hokkeiren.gr.jp

2026 年 10 月 16 日 (金) No408

発行：北陸経済連合会
編集：高橋アカネ・越野理恵
[Tel:076-232-0472](tel:076-232-0472) [Fax:076-262-8127](tel:076-262-8127)

会場：ビジョンセンター東京八重洲
②南海トラフ巨大地震を想定した訓練
日程：11 月 9 日(月)13:00-17:10
会場：ミーティングスペース AP 名古屋

【内容】(①②共通)

代替輸送訓練 (机上訓練)

- ・災害時を想定したロールプレイング訓練
- ワークショップ
- ・物流を止めないための企業 BCP の作成方法について

【定員】100 名程度 (両会場とも)

【詳細】<https://www.hrr.mlit.go.jp/press/2026/10/261006kouwanbu.pdf>

【申込】①首都直下訓練: 11 月 12 日(木)まで
②南海トラフ訓練: 10 月 30 日(金)まで
以下専用フォームから申込
<https://forms.gle/jK8vfQXduvu6bB9r6>
(担当：池澤)

■事務局の人事異動

調査役 山口 友雅
(株)福井銀行より着任(10/13)



以 上